

# 7月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔平成28年7月末現在〕

平成28年8月10日  
茨城県中小企業団体中央会

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「収益状況」は改善したが、「売上高」は悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「収益状況」は改善したが、「売上高」は悪化した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」全ての指標で改善した。

## 景況DI

製造業は、前月比2.5ポイント改善の-36.0ポイント、非製造業は、前月比2.0ポイント改善の-43.5ポイント、全体では、2.1ポイント改善の-39.6ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比12.9ポイント悪化の-36.0ポイント、非製造業は、前月比10.7ポイント改善の-34.8ポイント、全体では、2.1ポイント悪化の-35.4ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比17.7ポイント改善の-40.0ポイント、非製造業は、前月比1.8ポイント改善の-39.1ポイント、全体では、10.4ポイント改善の-39.6ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年7月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	パン	業界の人手不足が深刻である。特に食品工場は安い賃金で、細かなことを要求されることから敬遠されている。
		味噌	
		酒	○県内全体の課税移出数量 課税移出数量は、前年同月比104%となった。また、特定名称酒は102%と毎月上回っており、加えて普通酒が105%と醸造蔵全体が前年を上回った。本格焼酎は、前月までは全国平均を上回っていたが、今月は76.4%と大きく減少した。全国の清酒輸出は、2桁増で推移している。 日本酒製造組合中央会主催のANA(国際空港)ラウンジでの国酒展示が決定。12社の自慢の酒が海外出入国者へ試飲提供される。(平成29年3月～5月：茨城県・長野県・高知県) ○県内当業界について G7会合への地酒提供や、試飲即売会は酒小売・卸業界からの受注増につながっている。今後は10月1日の全国一斉乾杯イベント、10月7日の東京浅草花やしきでの「茨城の地酒まつり」開催に注力していきたい。
		納豆	・大豆不足により茨城県産の大豆の価格は、全国で一番高くなっている。(全国平均の1.5倍)そのため、県産大豆を使用した商品は収益が悪化している。
		菓子	7月は、菓子の需要が1年間の中でも低調な時期である。前年同月比で、売上・収益共に減少。8月のお盆時期の販売増加に期待したい。
	繊維工業	織物	
		縫製	
		袋物	・仕事の少ない会社が若干出てきており、仕事の多い会社との組合内での連携が見られる。
	木材・木製品	製材	製品の荷動きは、プレカット工場向けは、好転が見られるが、全体では依然として低調が続いている。盆明けの荷動きに期待する向きも見られるが全体としては先行き不透明感がなお拭えない状況である。
		プレカット	7月は目標の70%であったが、杉製品の価格が上昇してきた。8月は盆月上棟が減り、加工予定も少ない。
	紙・紙加工	段ボール	昨年よりも、売上・収益が悪いと答えた組合員が多く、景気は悪いように感じる。
	印刷	軽印刷	
	化学・ゴム	総合	
		プラスチック製品	
	窯業・土石製品	石材	
		コンクリート製品	
		焼物	商品の流れがやや鈍くなった。例年夏場においてはそうであるが今年は例年よりも止まりが早かった。秋の観光シーズンを迎えるまで厳しい状況になるかもしれない。
	鉄鋼・金属	鍍金	・売上高については業界として前年同月比1～2割減である。景況は本年4月中旬以降低迷が続いている。 ・金属材料、工業薬品とも需給、価格は安定している。 ・燃料費は月半ばから値下がり傾向であった。
		精密機器	
	一般機器	工業団地	○対象7組合員の売上状況は、前年同月比、減少7社、全体増減率63%となった。 ○市場動向と組合員への影響 ・昨年増産した排ガス規制前の在庫は減少しているが、新機種への需要が乏しい。また、昨年7月は、規制の期限が8月であったため年間最高の生産額を上げていたことから、前年同月比でみると大幅な減少となった。海外生産比率はまだ低く、生産の海外シフトはますます加速される見込みで、厳しい状況にある。 ・雇用面では、売上の減少ほど人員は減少しておらず、人員削減は継続して実施される見込み。
重電			
電気機器	電化機器	全体での生産高は前年同月比で32百万円増(4.32%)であったが、自動車関連事業所の+7.8%に対して、家電関連事業所は-12.9%と期首より続くマイナスの状況を脱しておらず依然として厳しい環境下にある。	
	自動車部品	全体的に、低迷状況が底を打った感があるものの、企業間の格差が大きくなっており、手放して喜べる状況ではない。	
その他の製造業	昇降機		

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年7月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比2.31%の増。シラスウナギの不漁で、ウナギ出荷価格の上昇を受けて販売価格は高値となった。
		県南地区卸売	組合員の倉庫を、親会社に賃貸していたが、倉庫の狭隘により9月30日を以って撤退。事業拡張の為、千葉市、小山市の2カ所に配送センターを建築する。
		食品卸売業	野菜果実合計で前年同月比96%の取扱高となった。野菜に関しては、生育順調の為、単価安、数量並で推移した。果実に関しては、前進出荷による品薄の為、単価高、数量減となった。
		セメント	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約14%の減少。建設工事の減少に加えて、タイル工事がサイディング工事に代わる等、工法の変化から、出荷減少に歯止めがかからない。
	小売業	県北地区共同店舗	前年同月比は、売上100.2%、客数98%となった。7月下旬にオープンした近隣の道の駅の影響は感じられなかった。
		県央地区共同店舗	昨年、プレミアム付き商品券の流通によって売上が増加となったが、今年はその反面で売上が減少となった。8月は祭事も多いので、需要が増えることに期待している。
		県南地区共同店舗	気候の影響から衣料品が前年同月比100%となった。また、住居、文化品はイベント等の影響により、130%と好調であった。
		クレジット	反面、アミューズ、リラクゼーション、フィットネス等のサービス部門が苦戦。特にア
		家電	梅雨明けの遅れにより、夏物商品が不振。8月上旬には大型店による夏物家電大処分市が控えている為、後半も売上が伸びず、期待した7月にはならなかった。
		石油	ガソリンの販売価格は前年同月比で2.5円上昇しているが、元売販売子会社や広域業者による一般組合員の仕入価格を下回るような安価販売競争が続いている為、廃止・休業等に追い込まれる組合員が増えている。
		農機具	
	商店街	中古車	・輸出は、少しずつ回復傾向であるが、鉄の値段は下落したままであり、オークションは低迷している。 ・中古車小売販売、大手は好調であるが、当組合員は価格面で劣勢であり悪化している。
		水戸	
	建設業	筑西	消費低迷が著しいため、街全体の人の流れ・動きが悪い。
		総合	
		電気工事	
		管工事	
	サービス業	交通安全施設業	
		鉄筋	
		ホテル・旅館	県北の臨海エリアでは、海水浴の時期でありながら横ばい傾向にある。逆に山間エリアでは合宿の団体客や新設された道の駅等での地域のイベントを目的とした宿泊客が増えている。 県央の臨海エリアでは、夏休みに入り客足が伸びているが、水戸市内では横ばい。観光エリアは、販売価格を上げても客足が伸びている。 県西・鹿行での合宿客の増加は嬉しい結果である。
	運輸業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数の前年同月比は普通車、軽ともに減少である。 ○普通車 : 87.6% ○軽自動車 : 91.4%
一般貨物運送		平成28年7月度の組合員数は116名、前月から1名純増となった。	
その他の非製造業	県北地区一般貨物自動車運送	主要顧客の物流動向は鈍く、各組合員の売上は減少している。又、燃料価格は値下げ傾向となるも、依然収益は厳しい状況である。	

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	全国的に学校給食のパンの回数が減少している。 食育を推進していくためには、バランスの良い献立として、パンが不可欠である。
	酒	国酒である日本酒で乾杯を提唱し、各種団体へ要請願いたい。
	納豆	高速道路のETC割引があれば観光客増に繋がり、売店等も販売上昇し、地元の商品も売れ行きが良くなるのではないか。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止
商店街	筑西	商店街振興組合に対しての補助金を充実してもらい商店街活動を活発にしたい。

月次景況調査 7月のDI (前年同月比)

項目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比
景況	▲ 39.6	▲ 41.7	2.1	▲ 36.0	▲ 38.5	2.5	▲ 43.5	▲ 45.5	2.0
売上高	▲ 35.4	▲ 33.3	▲ 2.1	▲ 36.0	▲ 23.1	▲ 12.9	▲ 34.8	▲ 45.5	10.7
収益状況	▲ 39.6	▲ 50.0	10.4	▲ 40.0	▲ 57.7	17.7	▲ 39.1	▲ 40.9	1.8
販売価格	▲ 12.5	▲ 25.0	12.5	▲ 8.0	▲ 15.4	7.4	▲ 17.4	▲ 36.4	19.0
取引条件	▲ 14.6	▲ 20.8	6.2	▲ 12.0	▲ 15.4	3.4	▲ 17.4	▲ 27.3	9.9

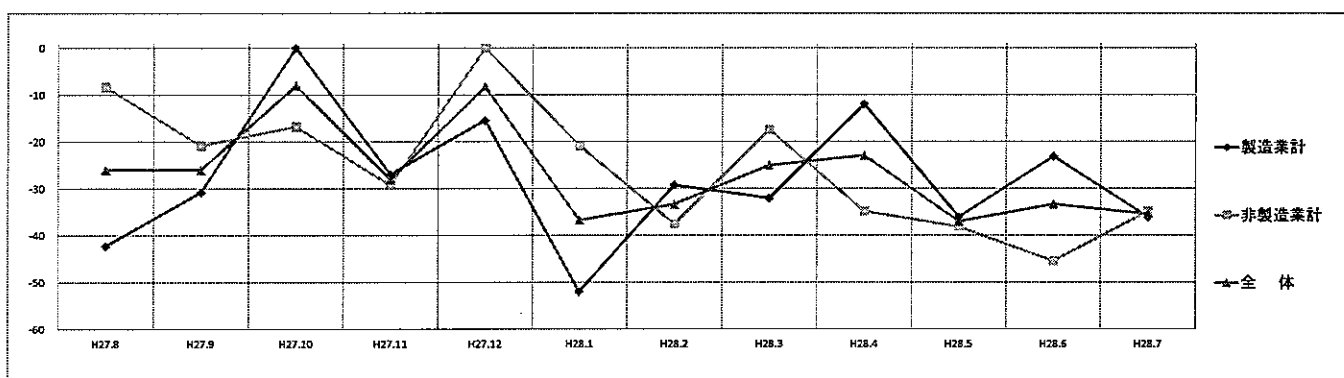


## D I 値推移表 (H27. 8月 ~ H28. 7月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H27. 8	H27. 9	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 50.0	▲ 35.0	0.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 36.8	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 31.6	▲ 30.0	▲ 47.4
製造業計	▲ 42.3	▲ 30.8	0.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 52.0	▲ 29.2	▲ 32.0	▲ 12.0	▲ 36.0	▲ 23.1	▲ 36.0
卸売業	0.0	0.0	50.0	25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 72.7	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 36.4
サービス業	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	20.0	20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0
運輸業	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 29.2	0.0	▲ 20.8	▲ 37.5	▲ 17.4	▲ 34.8	▲ 38.1	▲ 45.5	▲ 34.8
全体	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 8.2	▲ 36.7	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 22.9	▲ 37.0	▲ 33.3	▲ 35.4

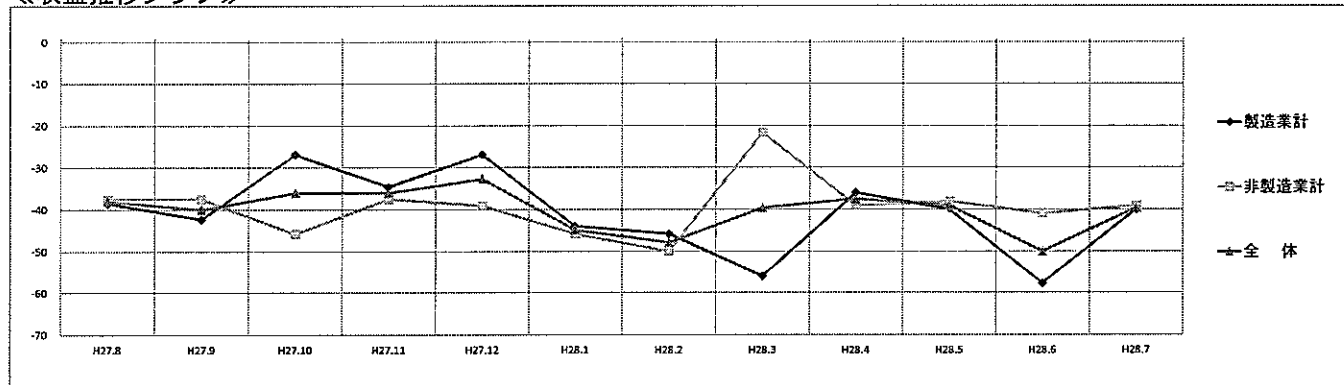
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H27. 8	H27. 9	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 52.6	▲ 57.9	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 60.0	▲ 57.9
製造業計	▲ 38.5	▲ 42.3	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 44.0	▲ 45.8	▲ 56.0	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 57.7	▲ 40.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 45.5
サービス業	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 45.8	▲ 50.0	▲ 21.7	▲ 39.1	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 39.1
全体	▲ 38.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 36.0	▲ 32.7	▲ 44.9	▲ 47.9	▲ 39.6	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 50.0	▲ 39.6

### 《収益推移グラフ》

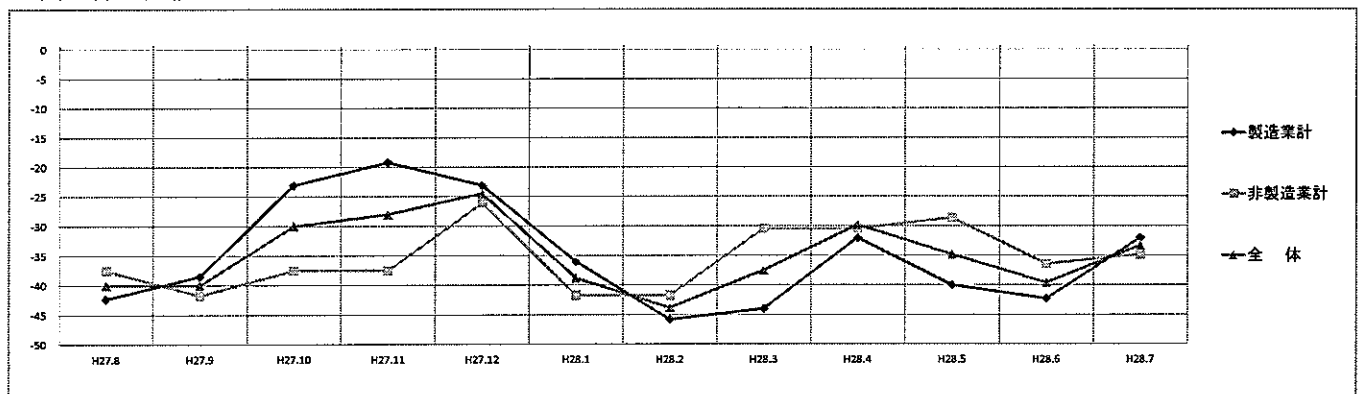


## D I 値推移表 (H27. 8月 ~ H28. 7月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	H27. 8	H27. 9	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 47.4	▲ 47.4	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 42.1
製造業計	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 36.0	▲ 45.8	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 32.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 50.0	▲ 45.5	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 45.5
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 26.1	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 28.6	▲ 36.4	▲ 34.8
全体	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 24.5	▲ 38.8	▲ 43.8	▲ 37.5	▲ 29.8	▲ 34.8	▲ 39.6	▲ 33.3

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	H27. 8	H27. 9	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 42.1	▲ 57.9	▲ 26.3	▲ 36.8	▲ 45.0	▲ 47.4
製造業計	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 44.0	▲ 37.5	▲ 52.0	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 36.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 54.5
サービス業	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 54.2	▲ 54.2	▲ 34.8	▲ 47.8	▲ 42.9	▲ 45.5	▲ 43.5
全体	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 32.0	▲ 32.7	▲ 49.0	▲ 45.8	▲ 43.8	▲ 31.9	▲ 39.1	▲ 41.7	▲ 39.6

### 《景況推移グラフ》

